

平成26年度表彰について

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 深 澤 修

平成26年度の表彰を平成27年度定期総会懇親会において行うこととし、機関誌「におい・かおり環境学会誌」(平成26年9月号) および協会ホームページへの掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。推薦された者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、理事会の承認を経て以下のとおり各賞の受賞候補者を決定した。

1. 功労賞

(敬称略 順不同)

功労賞は本協会の発展に貢献もしくははにおいに関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は50歳以上の者に贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 齊藤 幸子 齊藤幸子味覚嗅覚研究所 所長

(受賞理由)

齊藤幸子氏は、長年味覚・嗅覚に関する心理学・脳活動の研究に従事され、におい・かおりに関する研究実績は、若い研究者の育成や臭気判定士等の実務者への教育普及に対し多大な貢献をされました。

2. 学術賞

学術賞はにおいに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈することとし、受賞対象者は30歳以上の者に贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 棚村 壽三 大同大学

(受賞理由)

棚村壽三氏は、住宅のLDKの空気質に影響を与える調理臭を測定・評価し、制御方法を検討するための基礎データを収集し、建築環境工学空気環境分野に対し多大な貢献をされました。

3. 技術賞

技術賞は、個人又はグループで、においに関する調査研究又はにおい対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

- **一般社団法人オフフレーバー研究会** 代表 佐藤吉朗
(受賞理由)

一般社団法人オフフレーバー研究会は、食品成分の変質、外部からの物質の混入によって食品の品質が劣化して二次的に生じる異臭、変質臭、悪変臭を専門的な知識がなくても臭質や成分であるかを体験・教育できる「キット」を開発し、におい・かおり製品の品質向上と異臭クレーム事故の未然防止に多大な貢献をされました。

- **株式会社 ワイ・エム・ピー・インターナショナル (におい工房)** 代表 渡辺久夫
(受賞理由)

株式会社 ワイ・エム・ピー・インターナショナルは、食品成分の変質、外部からの物質の混入によって食品の品質が劣化して二次的に生じる異臭、変質臭、悪変臭を専門的な知識がなくても臭質や成分であるかを体験・教育できる「キット」を開発し、におい・かおり製品の品質向上と異臭クレーム事故の未然防止に多大な貢献をされました。

4. におい・かおり環境賞

においの街づくりなどの良好なかおり環境の向上に顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

- **矢田 英樹** 小林製薬株式会社 信頼性保証本部付
(受賞理由)

矢田英樹氏は、芳香消臭脱臭剤協議会事務局代表として活躍され、商品開発においては業界で初めて消臭機能を付加させた商品を次々と開発し、市場に投入し芳香消臭剤及び消臭剤というカテゴリーの基盤を構築し、におい・かおり商品分野において、その貢献は多大なものであります。

以上